



こうまま流 魅力的な支援技術

— 「分かる」・「伝わる」支援のために—

【ご案内】

今回のこだまの講演会は、愛知県豊川市のNPOゆうから荻野ます美さん（こうまま）をおまねきします。

こうまはこうくんのママだから「こうまま」なのだそうです。本名は荻野ます美さんで、ブログによると「最重度の知的障害を伴う自閉症児こうくん中3みと漫画家志望の風（フォン）高1♀の母」とされています。

NPOゆうの『ゆうゆう通信』には、「こうままのちょっといい話」という連載があります。ときには「ちょっとまじめな話」だったり「ちょっと悲しい話」だったりするこのコラムをよむと、支援者としてのこうままのセンスと、生活者としての正常な感覚がジワジワとつたわってきます。こうまは真剣で、大胆で、支援については絶対に手をぬかないけど、でもがんばりだけではなくて、ちゃんとツボをおさえてくれます。「親も子もお互い楽なのがイチバンですよ」という気らくさが、こうまま流のいいところです。

- ・「変化に弱いから変化させない」ことに必死になるのではなく、変化することをどう伝え、どう予告したらそのお子さんに「伝わる」のか「わかる」のか見つけること。
- ・確かに変化は苦手だよなぁと思います。でも、社会は変化に満ちあふれていて、変化のない生活なんてあるわけないので、「こんな風になります～」とか「こうなるけどよろしくね～」って感じでお伝えして納得していただく必要があるわけです。
- ・時代と共に法律や制度はどんどん変わっていきます。今受けられているサービスは当り前のものではなくて、先人たちが努力して勝ち取ってくださったものだから、それに感謝して、私たちはこれから来る人たちのためにより良い制度やサービスが残せるような動きができるといいなぁと思います。
- ・実物を使うよりも、絵や文字のカードを使う方が高級なコミュニケーションってな感じがしていたが、そんなことはない。カードを使っていた頃よりも、はるかに質の高いコミュニケーションが取れていると実感するこの頃。ワタクシ、実提示を極めて見せます。
- ・成長は人それぞれ。小さな変化を家族で喜び合えるのは幸せなことだなぁと感じます。
- ・行動の制御と統制。最終的にはそこだと思ふ。何もかも環境で制御統制するのではなく自力で頑張るって制御・統制出来る力を育てる(学んでもらう)ことが大事なんじゃないかと。

(NPOゆう機関誌『ゆうゆう通信』・こうままブログ『こうくんを守れ!!!』より)

こうまは、毎日の支援につかれぎみのわたしたちに、きっと前向きで、元気にさせるエネルギーをあたえてくれます。おおくの方々とこうまま流の「わかる」・「伝わる」魅力的な支援技術を勉強できることをたのしみにしています。